公社等外郭団体改革進行管理表

公　社　名	公益財団法人土佐山内記念財団		主管課名	歴史文化財課
役　割	山内家資料などの歴史的資料を後世に継承するとともに、展示や研究成果の還元、教育普及活動による文化振興			
改革の方向性	健全経営の確保	主な事業内容	・ 高知城歴史博物館の管理運営（指定管理者） ・高知城歴史博物館の資料等管理（委託業務） ・ 土佐藩主山内家墓所の管理	

令和７年度までの取組実績

(1)山内家資料の高知県への移管
平成16年度に、約67,000点の山内家資料を高知県へ移管

(2)山内家資料の分類整理・調査研究の実施
古文書・美術工芸品のそれぞれについて、重要文化財の指定に向けて、資料調査を順次実施

(3)資料の展示・公開
調査によって蓄積した資料情報をもとに、展示や教育普及活動を展開

(4)自主財源の確保
ミュージアムグッズを開発し販売することで、自主財源を確保
（グッズ販売収益 令和７年度は3,845千円）

(5)資料の保存・展示環境の整備への対応
「山内家資料の保存等検討委員会」から提言（平成22年２月）
「新資料館基本構想検討委員会」を立ち上げ、基本構想を策定（平成22年12月）
新資料館基本設計（平成23年）
新資料館実施設計（平成25年）
新資料館本体工事着工（平成26年）
高知城歴史博物館竣工（平成28年）

(6)新公益法人への移行
平成２４年４月１日付け移行登記完了

(7)公益財団法人土佐山内記念財団へ名称変更
平成２７年４月１日付け登記完了

(8)高知県立高知城歴史博物館の指定管理者として指定を受けた（平成28年1月）

(9)高知県立高知城歴史博物館開館（平成29年3月）

経営課題等

1　組織の財務体質の強化
(1)自主財源の拡充

2　高知城歴史博物館の安定的な管理運営
(1)来館者への適切な対応

(2)資料の価値向上への対応

(3)資料の観光資源等としての積極活用

(4)地域振興への協力

※参考
（観覧者数の推移）

年度	23	24	25	26	27
入館者数	12,030	11,064	10,939	10,641	0

※27年度は移転準備のため閉館

年度	28 (3/4～)	29	30	元	2
入館者数	29,146	188,049	106,247	74,513	27,756

年度	3	4	5	6	7
入館者数	34,430	52,838	57,366	54,499	72,343

3　土佐藩主山内家墓所の管理業務への対応

【令和8年度以降の取組方針】

1 組織の財務体質の強化
(1)自主財源の拡充
・引き続き、新たなミュージアムグッズの開発等を推進

2 高知城歴史博物館の安定的な管理運営
(1)来館者への適切な対応
・年間5万4500人規模の来館者を館内誘導、県内観光、文化施設等へ適切に案内する。

(2)資料の価値向上への対応
・資料の調査研究を着実に進め、成果を全国に情報発信。大学など外部の研究機関との連携
・資料の重要文化財指定への対応

(3)資料の観光資源等としての積極活用
・全国に誇れる大名家資料の積極的な活用・ＰＲ（広報、国宝等の展示）、観光旅行客等の誘致
・魅力ある企画展示と利用者の確保
・生涯学習や学校教育での積極的な活用
・歴史や文化の視点を持ったまちづくりや観光振興等への寄与等（高知市中心部と連携した事業展開）

(4)地域振興への協力
・地域資料の保存や調査に関し、歴史や文化の視点からの協力

3 土佐藩主山内家墓所の管理業務への対応
・墓所の整備活用計画策定や環境整備など一般公開に向けた取り組み